【樹木の部屋】

スモークツリー（ウルシ科ハグマノキ属　Cotinus coggygria）

和名：ケムリノキ(煙の木)　　別名：ハグマノキ(白熊の木)

英名：Eurasian Smokeush、Smokeush、Venetian Sumach

ムクロジ目　落葉性小高木　　原産地：南ヨーロッパ、ヒマラヤ、中国

花言葉：煙に巻く、賑やかな家庭、はかない青春　花の色：赤、ピンク、白、緑

← 写真-１　スモークツリーの枝
撮影日：2012 年 08 月 30 日
撮影場所：岡山市郊外にて
撮影者：Ｍ　さん

↑ 写真-２　スモークツリーの葉
撮影日：2012 年 08 月 30 日
撮影場所：岡山市郊外にて
撮影者：Ｍ　さん

← 写真-３　スモークツリーの花後
撮影日：2012 年 08 月 30 日
撮影場所：岡山市郊外にて
撮影者：Ｍ　さん

岡山市の郊外、国道 2 号線沿いにある園芸店の駐車場に植えられていました。車から降りて振り返ると、あれ？スモークツリ

ー？近寄って観ると、名札がありました。写真では、何度か目にしていましたが・・。

↑↗ 写真-４、５ スモークツリー(ロイヤル・パープル)の枝と葉
撮影日：2016 年 06 月 03 日
撮影場所：モネの家～ジヴェルニー(フランス)にて
影者：Ｍ　さん

← 写真-６ スモークツリー
（ロイヤル・パープル）の花
撮影日：2016 年 06 月 03 日
撮影場所：モネの家
～ジヴェルニー(フランス)にて
影者：Ｍ　さん

スモークツリーの園芸品種、ロイヤル・パープルです。フランス国内を、南部から北西部に移動中、道路沿いで、よく見かけました。車窓からは、スモークツリーとは認識できませんでした。休憩に立ち寄ったサービスエリアでも・・。ここでも、スモークツリーに似ているけれど、紫色なので、スモークツリーとは思いませんでした。そして、ジヴェルニーにあるモネの家の庭で再会。帰国後、調べてみると、ロイヤル・パープルと判明しました。少なくとも、小生の近辺では、見かけません。

＜ちょっと一言＞

＊スモークツリー名前の由来は

花後、雌株は不稔花の軸部分(花柄)が長く伸びて羽毛のようになり、花穂の見た目がもふもふした感じなり、それが煙っているように見えるのでこの名前があるそうです。雌雄異株の樹木です。

雄株は花穂がもふもふになりません。園芸で一般的に栽培されているのは、鑑賞価値の高い雌株だそうです。

＊和名のハグマノキ(白熊の木)の由来は

その姿をハグマ(ヤクのしっぽの白毛)で作られた仏具の払子(ほっす)に見たてたものだそうです。

＊スモークツリーの仲間

変種：枝が枝垂れるペンデュルス〔var. pendulus〕

葉っぱや花の軸が紫色を帯びるプルプレウス〔var. purpureus〕など。

園芸品種：赤紫色の葉が美しい’ロイヤル・パープル’〔’Royal Purple’〕

花の軸が赤紫色になり、生長が早い’グレース’〔Grace〕など。

があるそうです。